

令和6年度版 事業者向け 児童発達支援自己評価表(パオ)

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1	利用者さんの人数によっては学習スペースが狭いと感じる時もあるが学習時間を分けるなど工夫をしながら対応している。
	2	職員の配置数は適切であるか	5		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	1	玄関が階段の先にありバリアフリーの状況は対応できていないが構造化され使いやすい環境へ気づいたところから改善を行っている。
	4	生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また子供たちの活動に合わせた空間になっているか。	5		清潔であることを心がけ清掃等を行っている。違和感を感じた時には職員で話し合い環境を整えるようにしている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画している。	5		できるだけ全員の職員で業務改善を進めていけるように配慮をしているがパート職員に対して伝達のみとなってしまう場合があるので改善していきたい。
	6	保護者等向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか。	5		今回初めて実施したので意向に沿った業務改善につなげていけるようにしていきたい。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善内容を事業所の開放やホームページ維持等に公表しているか。	5		ホームページにて公表する予定である。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		5	第三者委員会は設置していない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1	全員での研修の機会は少ないがここで受けた研修や学んだ内容について共有する機会をもうけているが十分ではない。今後は研修の機会を増やしていきたい。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5		ご本人やご家族の要望やご意見をうかがったうえでそれぞれに応じた課題設定や計画書の作成を職員間で話し合いながら作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドライン「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもに支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5		ガイドラインに基づき職員間で話し合いながら具体的内容を設定している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	5		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		個別での活動が中心となっているが、集団活動の計画も担当者が個人で立案し共有し修正等を行い実施している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5		教材や運動遊びなども情報を収集し固定化しないようにしている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか。	5		適宜に組み合わせた計画を作成している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	4		前日の振り返りを行い当日の支援についての話し合いを行っている。午後から出勤のパートスタッフに関しては報告や指示といった形になってしまう事もあるので今後は時間を取ってしっかり打ち合わせを行っていく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		送迎の関係などで全員揃わない場合もあり特記事項については必ずその日に話し合いを行うが翌日の朝に振り返りを行っていく。
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		支援記録を作成や振り返りを行うことによって検証・改善を行えている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	5		ご家族ご本人の話をうかがい、見直しを行っている。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	5		児童発達支援管理責任者が参画している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	5		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを支援している場合) こどもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		必要に応じて情報の共有を行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で支援内容の情報共有と相互理解を図っているか。	5		必要に応じて情報の共有を行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5		今はまだご指導等をいただいてはいない。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5		祝日や長期休暇などにご家族以外のお友だちなどにもご参加いただくイベントを実施し、交流する機会をもうけている。
	29	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5		町内で実施してくださっている協議会などに一部の職員が参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		ご利用時のお迎えの時に事業所内や学校から聞き取りをした状況をお話し、お家で変わったことや心配事があった時には事前にお電話やLINEで相談していただき、必要に応じて面談を行うなど対応している。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5		お子さまへの対応についてご相談いただいたり、職員が気になった点について対応方法を提案したり、実際にどのように対応するのか見ていただいたりしている。
保護者への説明責任等	32	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5		契約時に運営規定、重要事項説明書などで説明を行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		
	34	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		相談があった際には個別に対応し、また職員間でも共有し意見を出し合い、お伝えしている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5		保護者会等の計画をしていたが多くの人に参加をしてもらうための日程調整が必要となりまだ実施には至っていない。休日イベント等で交流していただく機会は設けている。
	36	子どもや保護者からの相談の申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった際に迅速かつ適切に対応しているか。	5		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5		活動やイベントの内容などを掲示するなどしてお伝えはしている。
	38	個人情報に十分注意しているか	5		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5		言葉で伝わりにくい場合などはメモや図示をしながら説明するなどしている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5		まだあまり広くはお声掛けはできていないが少しずつ事業所のことをご理解いただけるような運営を意識して行っている。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5		職員間では周知できているが保護者の方には契約の際の説明程度になっているので今後重ねて周知徹底していきたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5		地震、火災、洪水、防犯それぞれを想定し避難訓練を行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子供の状況を確認しているか。	5		契約時にフェイスシート、年に1度アセスメントシートを使って確認をしている。また健康状態や服薬状態の変化があった場合は連絡をいただくよう依頼している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5		契約時にアレルギーの有無についての確認を行い、対応の確認は行っている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		事例集は作成していないが、研修で話し合いをし共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5		年に2回虐待防止委員会を開催し、身体拘束についても含め研修をしている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5		契約の際にご家族には説明はしているが利用者さんに対しては説明は不十分であると思われるので今後徹底していきたい。計画には記載している。